

漢文 「論語」 ③ —内容理解—

◎次の漢文の現代語訳を空欄に書きなさい。

1

子曰はく、

先生がおっしゃるには、

「学びて時に之これを習ふ、

「学んでしかるべきときに復習する、

亦説いふはしからずや。

なんとうれしいことではないか。

朋とも有あり遠方より来きたる、

友人が遠くから訪ねてくる、

亦また樂たのしからずや。

なんと楽しいことではないか。

人知らずして慍いんみず、

他人が自分を理解してくれなくても不満を抱かない、

亦君子ならずや。「と。

なんと立派な人物ではないか。」と。

年 組 番 氏名

漢文 「論語」 ③ ー内容理解ー

◎次の漢文の現代語訳を空欄に書きなさい。

2

子曰はく、

先生がおっしゃるには、

「^{これ}之を知るを^{これ}之を知ると為し、

「知っていることを知っているとし、

知らざるを知らずと為す。」

知らないことを知らないとする。

是れ知るなり。」と。

それが、知っているということなのだ。」と。

年 組 番 氏名

漢文 「論語」 ③ —内容理解—

◎次の漢文の現代語訳を空欄に書きなさい。

3

子曰はく、

先生がおっしゃるには、

「己おのれの欲ほしせざる所、

「自分がされたくない」とは、

人に施なすこと勿なかれ。」と。

人にしてはいけない。」と。

年 組 番 氏名

漢文 「論語」 ③ —内容理解—

◎次の漢文の現代語訳を空欄に書きなさい。

4

子曰はく、

先生がおっしゃるには、

「故こきを温ぬめて

「過去の事柄や学説などを重ねて研究し、

新しきを知れば、

新しい意義や知識が発見できるようになれば、

もつて師たるべし。」と。

師となる資格があるものだ。」と。

年 組 番 氏名

漢文 「論語」 ③ —内容理解—

◎次の漢文の現代語訳を空欄に書きなさい。

5

子曰はく、

先生がおっしゃるには、

「学びて思はざれば

「学ぶだけでよく考えて研究しないと

則ち罔し。」

物事の道理を明確につかむことができない。

思ひて学ばざれば

自分の考えだけに頼って、広く先人の意見や知識に学ばないと

則ち殆し。」

(独断に陥って) 危険である。

年 組 番 氏名

漢文 「論語」 ③ —内容理解—

◎次の漢文の現代語訳を空欄に書きなさい。

6

子曰はく、

先生がおっしゃるには、

「これを知る者は、

「何かについて詳しく知っている人は、

これを好む者に如かず。

勉強を好きな人にはかなわない。

これを好む者は、

勉強を好きな人は、

これを楽しむ者に如かず。」と。

勉強を楽しむ人にはかなわない。」と。